

マスターズ甲子園2018-2019シリーズ

＜申請枠＞

応募締切日の2017年10月13日までに、計27リーグから「申請枠登録申請書(8チーム以上の登録)」を受理。なお、「新規の都道府県リーグには優先的に予選枠を決定」に準拠し、「申請枠登録申請書」に申請があった新規の4リーグ(下表赤字)に対しては優先的にマスターズ甲子園2018予選大会リーグとして確定する。

また、2019大会希望申請リーグ 5リーグ(群馬、鳥取、岐阜、島根、宮城)についてはマスターズ甲子園2019予選大会リーグとして確定する。

2018大会(第15回大会) 申請希望リーグ: 22リーグ/16枠			
11月中2日間開催(大会日程は2018年3月上旬に決定)			
長野(18)	和歌山(12)	愛知(10)	北海道(8)
熊本(43)	愛媛(41)	埼玉(32)	三重(30)
神奈川(30)	大阪(30)	兵庫(28)	鹿児島(28)
広島(26)	福島(23)	徳島(22)	東京(22)
奈良(21)	宮崎(18)	富山(17)	福岡(14)
沖縄(11)	岩手(9)		

2019大会(第16回大会) 申請希望リーグ: 5リーグ/16枠			
11月中2日間開催(大会日程は2019年3月上旬に決定)			
群馬(18)	鳥取(15)	岐阜(15)	島根(12)
宮城(10)			

上記結果より、2018大会に申請希望を出した残り18リーグから申請枠12枠を抽選によって決定する。

抽選会は表2を基準とし「予選大会登録書」に記載されたOBチーム数および各予選大会の都道府県高校野球連盟加盟高校数に対するOBチーム数の割合を勘案した票数(表3)にて実施する。

【表2: 申請枠・追加枠の抽選会における票数基準】

チーム数	票数
8~15チーム	1票
16~23チーム	2票
24~31チーム	3票
32~39チーム	4票
40チーム以上	5票

チーム数/高野連加盟校数	票数
60%以上	1票